

第1回 市制施行80周年記念事業推進本部会議 議事概要

1 日時 平成30年11月19日(月) 13:00～13:45

2 場所 吹田市役所高層棟4階 特別会議室

3 出席者 別紙「出席状況一覧」のとおり

4 案件

- (1) 市制施行80周年記念事業の基本方針(案)
- (2) 市制施行80周年記念事業に係る今後の予定

5 議事内容

(1) 本部長から挨拶

第1回の推進本部会議ということで、80周年についてこれから一緒に考えていきたい。

80周年は、ものすごく大きな節目になるのではないかと考える。中核市移行の年と重なるが、中核市になるのは1回だけである。また、万博50周年等もあるが、半世紀というのは大きな節目になる。70でも90でもない特別な80周年の記念行事にしないといけないというイメージがある。

その考えを共有しないと、80周年記念事業は良い取組にならない。本日の会議で考え方を共有し、今後、具体的な検討に入りたい。

(2) 案件1、案件2の審議

- ・事務局から説明(資料1～資料3)。
- ・質疑応答の要旨は、以下のとおり。

<質疑応答の要旨>

【本部員】

資料1の基本方針の「将来にも引き継がれるような取組」とは、単発ではなく継続事業を考えるという趣旨か。

【事務局】

単発事業だけでなく今後90周年、100周年にも繋がるような取組をイメージしている。たとえば、70周年の時には、マスコットキャラクターの公募によって、すいたんができた。今では、7割以上の市民がすいたんを認知している状況にあり、現在のシ

ティプロモーションの取組につながっている取組内容の1つであったと考える。そういった観点から、10年後にも80周年をきっかけにこういう取組が始まったというようなことができると考えている。

【本部員】

推進体制について、実行委員会と庁内の組織の関係はどのようになるのか。

【事務局】

実施方針や事業計画については庁内の組織で検討。実行委員会に実施していただく分についても、庁内で一定まとめさせていただく。それをもって、実行委員会でもブラッシュアップをしていただき、実行委員会主催で様々な事業を実施していただく予定。実行委員会からも提案があれば、推進本部会議において審議のうえ進めるなど、連携して進めていきたい。また、実行委員会で実施される事業に関しても、内容や必要に応じて庁内の部署にも協力してもらおうことがあると考える。

【本部員】

基本方針と実施方針は、プレ事業（平成31年度実施分）も含めたものか。

【事務局】

そのとおり。

【本部員】

実施方針をこれから検討委員会の中で議論すると思うが、市で新規・拡充により実施する事業の一覧を作るのか。市民主体で実施するものの案を出すのか。

【事務局】

市主催で実施する事業の枠組みと、実行委員会で実施を検討いただく枠組みの両方について、検討委員会の中で一定まとめていく予定。また、各部局においても、80周年事業として実施する可能性がある事業を検討されているかどうか、今後、調査させていただく。

【本部員】

検討委員会の構成について、委員の選出基準はあるか。

【事務局】

今後、80周年事業に関して関わりが深いと事務局で想定した室課の方を委員として

いる。70周年の際に実施していた同様の会議も参考にして、委員を選出している。今後、具体的な取組を検討する中で、その内容に応じて必要があれば、検討委員会の構成については、柔軟に変更等を行う考え。

【本部員】

4月の土日に予定している記念式典については、たとえば中核市移行の記念式典と一緒にすることになるのではないかと考える。中核市移行ではなく、あくまで80周年がメインとなるのか

【事務局】

中核市移行は大きな節目であり、式典もできれば連携して実施したいと考えるが、中核市移行の担当と、今後調整をしていく必要がある。

【本部長】

80周年は周年事業でいわゆるお祭り。中核市移行は、そういう性質のものではないが市として大きな節目であり、それらが同時に来るということで、ダブルタイトルになるのではと考える。今後、中核市移行に向けた手続きを進めていく必要があり、中核市移行が正式に決まった段階で本格的な検討となるが、その準備については進めておく必要があると考える。

また、今後の検討で、若手職員を巻き込むことは重要。20年先を見据えての取組をしていくのであれば、20年後にも市役所にいる人に中心になって考えていただきたい。また、学生の手も重要。大学とも一層の連携を図っていく必要がある。70周年事業の経験や反省を活かすとともに、全国の他市事例なども参考に検討を。

各部署単独で実施するイベントのほか、連携も必要になる。万博50周年に関しては、国との連携が必要になるかもしれないし、ニュータウンに関しては大阪府や近隣市とも連携するかもしれない。連携については、事務局に聞くのではなく、各部署で独自に考えていただきたい。新たな制度等、アイデアを温めているのであればこれを機に出すというのも良い。

【本部員】

通常、事業の新規・拡充を要求する際は、スクラップアンドビルドを意識するよう言われているが、記念事業に関して一定の枠はあるか。各所管で検討ということだが、所管の立場からすると、枠があれば進んで取り組みやすい。

【事務局】

事務局として、予算を積み上げてとっていくのは厳しい。今後、財政担当と調整させ

ていただく必要があるが、推進本部で決まったことに予算を付ける形になっていくのがスムーズと考えているところ。

【本部員】

周年事業について単発で実施するものに関しては、一時的な経費として、過去の事案も参考に一定の枠を設定する必要があると考える。継続的に実施していく事業をするのであれば、既存の事業の中で見直しは必要。

【本部長】

記念事業と通常の事業は分けて検討するように。継続して実施していくことになる事業の拡充・強化と新規事業を出すことは、これまでの市のシステムに則って検討を。

出席状況一覧

本部長	後藤市長
副本部長	春藤副市長
	辰谷副市長
本部員	前田水道事業管理者
	原田教育長 [欠席]
	清水危機管理監
	小西総務部長
	平田理事（人材育成・女性活躍担当）
	稲田行政経営部長
	大山理事（中核市移行準備担当）
	小林税務部長
	高田市民部長
	横山人権政策長
	畑澤都市魅力部長
	原山理事（シティプロモーション担当）
	中野児童部長
	後藤福祉部長
	山下健康医療部長
	舟津健康医療審議監
	中嶋環境部長
	乾都市計画部長
	上野理事（住宅政策・拠点整備担当）
	松本土木部長
	竹嶋下水道部長
	村上消防長
	岡本水道部長
橋本学校教育部長	
大江教育監	
木戸地域教育部長 [代理出席：落地域教育部次長]	
宮田議会事務局長	
事務局	田中参事、白澤主幹、船越主査、桐山係員